

文部科学大臣賞

～西宮市の周囲長を測定しよう～

大阪府 大阪教育大学附属池田中学校 2年 岸岡 友陽

講 評

県単位ではオープンデータとして周囲長が公表されている一方、市町村単位のデータが入手困難な課題に対し、独自の解決策を提示した作品です。スクラッチでの移動距離計算プログラムの開発、GoogleEarthでの境界点特定、ChatGPTを活用した距離計算を組み合わせたアプローチは、地理学、数学、ICTスキルを統合した創造的な研究として高く評価できます。さらに、プロンプトの公開や結果の検証を通じ、生成系AIの応用力と理解を示しており、科学技術活用の実践例としても意義深いです。独自手法の着想と粘り強い探究姿勢が印象的で、今後の発展も期待されます。

中央審査委員会